

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	82	学校名	静岡県立浜北西高等学校	校長名	邑田 聡一
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

校訓「自己を拓く」のもと、主体性を育む多くの教育の機会を提供し、幅広い進路に対応する地域に根差した全日制普通科高校として、キャリア教育に国際理解教育、地域連携・協働活動などを取り入れた探究的な活動を通して、グローバルな視野で、将来、地域社会（ローカル）で活躍できる能力と態度を備えた人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>① 校訓「自己を拓く」のもと、自らの手で無限の可能性と豊かな未来を切り拓く生徒を育成します。</p> <p>② さわやかでたくましく、目標に向かって努力できる生徒を育成します。</p> <p>③ 心身ともに健康で、高い志や豊かな心を持ち、自他ともに大切にできる生徒を育成します。</p> <p>④ グローバルな視野を持ち、将来、地域社会で活躍できる能力と態度を備えた生徒を育成します。</p>	<p>① 普通教科をバランスよく履修することにより、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒の進路及び適性に応じた科目の選択ができるよう教育課程を編成します。</p> <p>② 多様な進路希望に対応できるよう、文系・理系コース、また特進コースを設置します。</p> <p>③ 日常を大切にし、「時を守り、場を清め、礼を正す。(時間、清掃・規律・ルール、挨拶・聴く態度・規則正しい生活)」等、凡事徹底を図り自己管理能力の育成を図ります。</p> <p>④ 総合的な探究の時間(キャリア教育)を通して、5つのキタニシカ(見つける力、考える力、つながる力、伝える力、よりよくなる力)の育成を図る教育課程を編成します。</p> <p>⑤ 保護者や地域、大学や企業等との連携・協働活動を通して、学校の活性化を図り、部活動、生徒会活動、地域貢献活動、防災・安全教育等を充実させる教育課程を編成します。</p>	<p>① 積極的に地域に関わり、地域社会の未来を担うことのできる生徒。</p> <p>② 思いやりの心を持ち、人のために行動できる生徒。</p> <p>③ 明確な目標を持ち、その達成に向けて努力を続けようとする生徒。</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 知識・技能のほか、学ぶ意欲や自ら課題を見つけ解決できる確かで幅広い学力を育成する。
- イ 日常を大切にし、「時を守り、場を清め、礼を正す。(時間、清掃・規律・ルール、挨拶・聴く態度・規則正しい生活)」等、凡事徹底を図り自己管理能力を高める。
- ウ 深い自己理解のもと、SDGsの理念を組み入れながら、探究的なキャリア教育を推進し、進路実現を可能にする力を育成する。
- エ 国際理解教育を推進し、留学生の受け入れや海外との交流を通して、グローバルな視野と豊かな人間性・多様性を受け入れる心を育成する。

オ 保護者や地域、大学や企業等との連携・協働活動を通して、学校の活性化を図り、部活動、生徒会活動、委員会活動、地域貢献活動、防災・安全教育等を充実させる。また、広報活動の充実にも努める。

カ 業務改善を推進し、年間計画の適正化、部活動の計画的実施、情報の一元化、業務の効率化を図る。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな学習指導やアクティブラーニング型の授業 ・ICT活用授業を実施する。 ・「反転学習」などの考えを取り入れ、復習にこだわらず予習にも取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒85%以上 ・「授業に満足している」と答える生徒80%以上 ・「意欲的に家庭学習に取り組んでいる」と答える生徒70%以上 	教務課 進路課 図書・情報課 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路実現のための努力をしている」と答える生徒80%以上 ・新しい大学入試に対応した指導の実施（授業・検定・進路課外等） ・進路課外等の計画的実施 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・月末読書量統計をとり、読書の推進を図る。 ・年間7冊（11月末6冊）以上の生徒80%以上 	図書・情報課
		<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価の適正な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校として、教科としての統一を図る。 	教務・研修課
	教員の授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を推進する。 ・研修・授業研究の充実 ・生徒一人一台PC活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ授業一人年間1回以上、授業見学（他教科も含め）2回以上 ・Findアクティブラーナー視聴回数増加、研修の実施 	研修課 教務課 管理職 図書・情報課
イ	「時を守り、場を清め、礼を正す」指導と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・初期指導を徹底し、時間を守る意識、タイムマネジメント力を身につける ・提出物の期限を徹底する。 ・手帳やマナビジョン等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年初期・中期指導6時間以上 ・学年集会の開催年間8回以上、集会時の遅刻0% ・時間を管理し、4点固定の中の家庭学習の開始時間を守ることができたと答える生徒80%以上 	各学年 教務課 生徒課 進路課
		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備委員会の活動年間5回以上 ・清掃用具点検年間3回以上 	保健課
		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行 ・生活指導、交通ルール遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自らすすんで挨拶ができる」「交通ルール・マナーを守る」と答える生徒90%以上 ・交通事故件数20件未満 ・学校周辺および通学路の危険個所の調査・確認・周知 	生徒課 全職員

ウ	体系的なキャリア教育の実施	・総合的な探究の時間の充実	・「進路指導を含めたキャリア教育（総合的な探究の時間）が充実している」と答える生徒 90%以上	探究委員会 教務課 各学年 進路課
		・モチベーションアップのための進路行事の充実		
		・進路実現	・卒業前アンケートで「決定した進路先に満足している」と答える生徒 90%以上	3 年部 進路課
エ	国際理解教育の推進	・留学生との交流の活性化	・相互のプレゼンテーションを 3 回以上実施する。 ・浜北国際交流協会との連携	研修課 英語科
		・タイ王国シリントン学校、台湾の高校生との交流	・オンラインでの交流会 3 回以上実施	
オ	大学や企業・地域・保護者等との連携や協働活動、貢献活動、広報活動（探究の時間を含む）	・部活動の活性化 ・生徒が他者・外部と関わり合うことを大切にするための情報提供	・県大会出場 10 部活以上 ・1 部活 1 地域交流活動（地域貢献活動・協働・連携等）の実施 ・校内への普及体制（窓口）の確立	生徒課 各部活顧問
		・生徒会や委員会活動の充実	・各委員会の開催年 5 回以上 ・生徒による具体的活動の実施	生徒課 各委員会担当
		・防災教育・安全教育・キャリア教育の充実 ・開かれた学校づくりの推進	・連携した防災教育の機会 2 回以上、地域防災リーダー育成と防災訓練の見直し。 ・保護者・地域の方の来校が増加する。	総務課
			・連携したキャリア教育の機会 3 回以上	進路課
		・「探究的な」キャリア教育に「SDGs」「地域連携」を取り入れていく。	・探究検討委員会を毎月開催 ・3 年生の進路を意識した探究活動の構築 ・3 年間の流れを検証・修正していく。	探究委員会 各学年関係分掌
		・発信力を高める工夫	・HP 更新週 3 回以上、学校便り等の作成や SNS の利用で広報活動を充実させる。 ・中学生向け学校紹介動画をリニューアルする。	図書・情報課 広報委員会 教頭
		・年間計画における行事等の配置を見直す。	・各学年・分掌、運営委員会等で意見の集約を図る。	教務課
カ	業務改善の推進	・部活動に係る活動方針に基づき、部活動ファイルを有効に活用し、計画的に部活動を実施する。	・部活動計画表の作成（年間及び月間）、提出 ・各部活動、年間 80 日以上の休養日の設定を心掛ける。	生徒課 各部活顧問
		・情報の一元化の推進	・学校メールや Google カレンダーを積極的に活用し、校務の DX を推進する。	図書・情報課 全職員
		・効率的な業務運用を図り、働き方改革を推進する。	・計画的な業務計画の推進 ・学校経営予算運用の効率化 ・業務分担の明確化	全職員 管理職

